

バルナバ～^{なぐさ}慰^こめの子

使徒の働き 4:36、9:26-28、11:22-24、Ⅱテモテ 4:11

(月 日)

使徒の働き 4:36 **バルナバ**

() に入る言葉を書いてね。

- バルナバの本名はヨセフですが、みんなからバルナバと呼ばれていました。



バルナバとは () の子(こ) という意味があります。

使徒の働き 11:22-24 **聖霊に満ちている人**

- () の正しい方に○をつけよう。

彼(バルナバ)はそこに到着したとき、神の恵みを見て喜び、

みなが心を堅く保って、常に主にとどまっているようにと

1.	た	励まし
		めいれい

。

かれは

1.	な	りっぱ
		せい

 人物で、

1	せい	れい

 と信仰に満ちている人であった。

こうして、大ぜいのおおひとが主に導かれた。



聖霊に満ちている人は、人を励ますことができます。

わたしも人を励ますために聖霊に満たしてください。

(月 日)

使徒の働き 9:26-28 **サウロを助けたバルナバ**

バルナバは、みんなが恐れているサウロを連れてきて、サウロのことを説明したので、

みんなで一緒に神様の働きができるようになりました。



みんなから誤解されている人や、仲間外れになっている人がいたら、

わたしも助ける人になれるように聖霊の力で満たしてください。

